

恵海著「日本は世界安定の要石」大機小機、日本経済新聞 2017年10月28日刊を読む

日本は世界安定の要石

1. (1) 自民党が大勝し、日本の政治・経済の安定性が継続されることとなった。
(2) 米国や欧州の巨大金融機関経営者など有識者たちの多くが、今回の選挙結果を歓迎している。
(3) 米国有数の大金融機関のボードメンバー、大投資銀行幹部、欧州の巨大ユニバーサルバンクの上級役員の意見を総合すると次のようなものだ。
2. (1) 今回の日本の選挙に対する注目度は、米国だけでなく世界でも高かった。
(2) その理由は、日本人はあまり気づいていないようだが、日本は先進国の中で政治・経済が最も安定しており、世界はその安定継続を期待しているからだ。
3. (1) 米国の経済は堅調で株価の上昇が続いているが、トランプ大統領の不規則発言が国内外の政治、民族、宗教、あるいは所得階層間の対立をあおり、様々な不安定要因が拡大している。
(2) オバマケアを廃止しても、トランプケアは低所得層や高齢者に厳しく減税案も不明確で低所得層を中心に不安感が高まっている。
(3) 連続する銃乱射事件の背景にはこうした政治・経済面の対立等に起因する漠とした不安の存在が指摘できる。
4. (1) 英国は選挙の敗北でメイ首相の信頼が崩壊し、保守党では既に後継者が取り沙汰されている。
(2) フランスもマクロン大統領の基盤は予想以上に脆弱だ。
(3) 9月のドイツ総選挙では、メルケル首相は辛うじて勝ったが、右翼国家主義政党が第3党に進出した。
5. (1) スペインはカタルーニャ独立問題で不安定さを増しているし、
(2) オーストリアのクルツ次期首相は31歳で経験に乏しく、移民・難民に厳しい民族主義者だ。
(3) ロシアはマイナス成長からは脱したが、引き続き1%台の低成長だ。
(4) 中国は習近平氏の新体制ができたが、成長率は低下傾向でバブルの収束は難しい。
(5) 軍事拡張主義に対するアジアの不安・反発が高まっている。
6. (1) こうした主要国の状況に比較し、日本の政治・経済の安定性は世界で際立っており、
(2) アベノミクスや量的・質的緩和政策の実績も上がり、世界で頼りにされている。
(3) 今回の自民党の勝利が世界に安心感を与えたと言っても過言ではない。
(4) 今後、安倍晋三首相は、日本が世界安定のキーストーンであることを踏まえ、
 - ① 日米同盟を堅持し、
 - ② 最先端技術開発で資本の生産性を高め、
 - ③ 世界の安定に一段と貢献してほしい。

<コメント>

恵海氏により、日本の強み、世界からの期待がよくまとめられている。グローバル社会で競争能力を強化するしくみを構築するには、この日本の強みを徹底的に磨き込む以外にないと思う

— 2017年10月28日（土）林明夫 —